



# 事務局ニュース

〈9号〉 2016. 9. 29

雨が続いています。  
お待たせしました。今号は岩手で行われました国体の結果を報告いたします。

## 第71回国民体育大会 希望郷いわて国体を終えて



競泳競技は、盛岡市総合プールで3日間、熱い戦いが行われました。愛知勢は、少年B男子 100 mバタフライで石川慎之助、少年B女子 100 m平泳ぎ・200 m個人トドレの2種目で今井月、少年B男子 400 mトドレリレー（瀬崎・間島・石川・野口）、成年男子 200 mフリーリレー（安江・伊藤・川本・越）、成年男子 400 mトドレリレー（川本・後藤・安江・伊藤）の6種目で優勝する大活躍をみせました。

また、新設されたOWSでも森山幸美が2位に入るなど大健闘しました。  
〈左写真：男女総合成績、天皇杯「第4位」の賞状〉（競技委員長より）



今回、「希望郷 いわて国体」の愛知県少年男子チームのキャプテンを務めさせていただきました。私は岐阜県出身ですが、今回で3回目の愛知県代表での出場となり、3年間の中で一番チームワークの良さを感じました。少年の中はもちろんですが、成年の方々ともコミュニケーションをとることができ、多くのことを学ぶことができました。少年・成年の垣根を越えチーム一丸となり戦うことができたと思います。ここ数年、愛知県チームの天皇杯成績は5～6位でしたが、今回は4位という愛知国体以降では最高順位をとることができ、大変嬉しく思っています。今回の国体出場に際しまして、ご支援ご協力をいただいた多くの方々に、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。（豊川高 今井流星）

目標達成おめでとうございます。最後のレース、400 mトドレリレーは「チーム愛知」を象徴するような接戦で、応援もすごくタッチの差（0.07秒）で神奈川県を破ったとか。その場に立ち会えなかったことが残念でした。



ここ数年国体の応援に出かけていますが、会場周辺に地元小・中学生が書いてくれた歓迎ののぼり旗が整然と飾られています。今年もすてきなメッセージが書かれており、思わず愛知県の旗を探して写真を撮ってしまいました。〈写真左〉子供たちが一生懸命書いてくれた旗を見るととても心が温まり、全国から集まる大会の雰囲気を感じました。

また、会場内・外では無料のドリンクサービスがあり、スポーツドリンクや岩手産のリンゴジュースなど私も何杯も美味しくいただきました。たくさんのスタッフ・関係者の方々のおかげでスムーズな入場・応援ができ、大変感激しました。（愛知県応援者）

国体でOWSが行われるのが第1回目ということもあり、愛知県代表としてどうしても優勝したかったのですが、1位の人と3.4秒差で負けてしまい、とても悔しい思いをしました。レース展開からいうと、1位の人にずっとくっついて泳いでいたのですが、最後に抜かすスピードが出ずに2位のままゴールしてしまいました。  
〈国体OWS第2位の森山さん・右写真中央〉

国体で悔しい思いをしてから日本選手権までの練習はとても追い込みました。もっと積極的なレースでなければ優勝することはできないと思ったので、練習から男子と泳いでも自分が前に出る意識で取り組みました。当日のレースでは、6.5km過ぎから2位の人と競り続けるレースだったので、自分が取り組んできたことと聞こえてくる応援の声を胸に、最後まで強い気持ちで泳ぎ切れたことが優勝に繋がったのではないかと思います。今回の大会で次の世界大会にも進むことができたので、4年後の東京五輪までにたくさん経験を積み、オリンピックという最高の舞台上で、応援してくださっている方々、支えてくださっている方々に笑顔になっていただけるレースができるよう、更に成長していきたいと思えます。



（日本体育大学・豊川高出身 森山幸美）

〈東京・お台場海浜公園で行われた日本選手権ゴール直後、選手後方が優勝した森山さん・写真上〉